



水口智貴 倉敷市広江



岡田多恵 岡山市南区

品の良い花柄の器は、1期生の岡田多恵さん。今年、日本橋三越本店で個展を開催するなど、ここ最近の活躍が目立つ。「パート・ド・ヴェールという古代メソポタミアのガラス技法を用いて四季折々の美しい自然や植物から感じられる日本らしさをガラス作品に表現しています。

主にうつわや蓋物などの形の中に、心にとまったモチーフを描いて、彫刻作品を作っているような気持で制作しています。心を癒し生活に潤いを与えるような、うつわの用途を越えた愛でることの出来るうつわを作りたいと思っています。」

(岡田さんからのメッセージ)



石田彩 岡山市北区

Glass Kurashiki News Letter

Vol. 1

発行 倉敷芸術科学大学 芸術学部 磯谷研究室
問い合わせ aki-iso@arts.kusa.ac.jp 2016/7/1

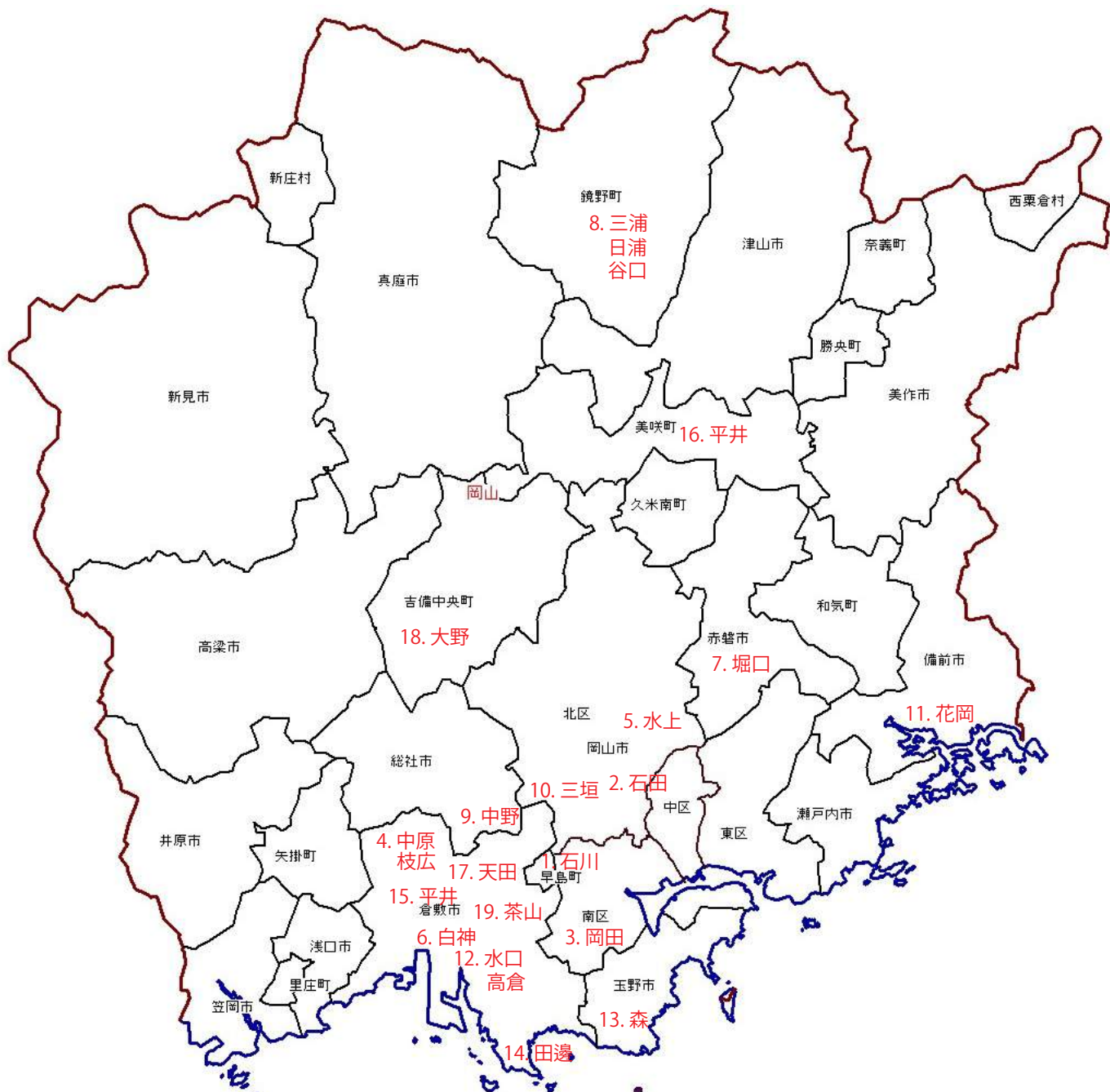
巻頭を飾るのは、6期生の水口智貴くん。2007年から倉敷市広江で「ぐらすた TOMO」という吹きガラスの工房を運営。愛媛県出身だが、倉敷人を自負している。晝表のい草をガラスの発色剤として使った「いぐさガラス」を最近発表した。なぜかマスコミへの露出度が高い。日常の器もスタンダードに制作しているが、ガラスの持つ神秘的な振る舞いを捉え、造形作品として発表している。アシスタントは、12期生の高倉縁さん。



左下の器の制作者は、1期生の石田彩さん。卒業後自宅に工房を作り活動を始める。岡山、倉敷、東京などで、個展を開催。古代オリエントのガラスをモチーフに、独創的なガラス作品を制作発表していた。活動を続けながら、イギリスへの留学の機会を模索していたがついに留学。2015年 University for the Creative Arts MA Glass (UK) 卒業。、修了制作がその年の Stanislav Libensky Award 2015、グランプリ、プラハ(チェコ)を受賞。副賞はアメリカ Pilchuck Glass School への短期留学。

発行に当たって 磯谷晴弘

倉敷芸術科学大学 芸術学部 デザイン芸術学科ガラス工芸分野(旧工芸学科ガラス工芸コース)は、開学以来300名以上の卒業生を輩出してきました。20周年の節目にあたり、夢を持ち続け、叶えつつある卒業生たちの姿を紹介していきたいと思います。もちろん作家として活動している人ばかりでなく、いろいろな分野で素敵な生き方をしている卒業生も紹介します。



岡山県

岡山県内

倉敷芸術科学大学卒業生

ガラス作家、工房・アトリエ

注・名前は、作家名（旧姓）で表記しています。

2016年6月現在

	名前	所在地	工房名等	技法
1	石川 昌浩	都窪郡早島町	石川硝子工芸舎	吹きガラス
2	石田 彩	岡山市北区		吹き、カット
3	岡田 多恵	岡山市南区		パートドペール
4	中原 司	倉敷市真備町	GALACO	研磨
4	枝廣 里紗	倉敷市真備町	GALACO	
5	水上 希望	岡山市北区		接着、研磨
6	白神 典大	倉敷市松江	Glass Ten Studio	吹きガラス
7	堀口 華江	赤磐市	ガラス工房華	吹きガラス
8	三浦 和	苫田郡鏡野町	妖精の森ガラス美術館工房勤務	吹きガラス
8	日浦 佑記	苫田郡鏡野町	妖精の森ガラス美術館工房勤務	カット
8	谷口 絢香	苫田郡鏡野町	妖精の森ガラス美術館工房勤務	吹きガラス
9	中野 由紀子	総社市清音		吹き、エナメル彩
10	三垣 祥太郎	岡山市北区	Glass Studio Migaki	吹きガラス
11	花岡 央	備前市	ヒロイグラススタジオ	吹きガラス
11	杉焼 雅子	備前市	ヒロイグラススタジオ	
12	水口 智貴	倉敷市広江	ぐらすたTOMO	吹きガラス
12	高倉 縁	倉敷市広江	ぐらすたTOMO	吹きガラス
13	森 美樹	玉野市	玉野市駅東倉庫	キルンワーク
14	田邊 菜子	倉敷市下津井	ガラス工房つつ	キルンワーク
15	平井 宏明	倉敷市水島		バーナーワーク
16	平井 睦美	久米郡美咲町		吹き、サンドブラスト
17	天田 悠	倉敷市中島		キルンワーク
18	大野 雅泰	加賀郡吉備中央町	Glassite勤務	吹きガラス
19	茶山 珠穂	倉敷市石見町		キルンワーク